

## 岩手県環境審議会自然・鳥獣部会審議結果について（報告）

平成 29 年 2 月 9 日（火）に開催した自然・鳥獣部会において、次のとおり諮問があった 2 項目について審議した結果、「第 12 次鳥獣保護管理事業計画の策定について」は、原案のとおり適当と認めるとともに、「第二種特定鳥獣管理計画の策定について」は、一部文言を修正のうえ、案のとおり認めたので報告する。

### 1 第 12 次鳥獣保護管理事業計画の策定について（別紙 1）

#### （1）計画期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日

#### （2）概要

鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成 14 年法律第 88 号。以下「法」という。）第 4 条の規定に基づき、鳥獣の保護及び管理を図るための事業（鳥獣保護管理事業）を計画的に実施するために必要な事項を定めたもの。

### 2 第二種特定鳥獣管理計画の策定について

#### （1）計画期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日

#### （2）概要

法第 7 条の 2 の規定に基づき、岩手県内において生息数が増加し、又はその生息範囲が拡大している鳥獣を対象に、適切な管理を図るために必要な事項を定めたもの。

#### （3）策定した計画

- ① 第 5 次シカ管理計画（別紙 2）
- ② 第 4 次ツキノワグマ管理計画（別紙 3）
- ③ 第 4 次カモシカ管理計画（別紙 4）
- ④ 第 2 次イノシシ管理計画（別紙 5）

## 第 12 次鳥獣保護管理事業計画の概要について

### 1 計画の名称

第 12 次鳥獣保護管理事業計画

### 2 計画の期間

平成 29 年 4 月 1 日から平成 34 年 3 月 31 日

### 3 計画の概要

鳥獣の保護及び管理を図るための事業（鳥獣保護管理事業）を計画的に実施するために、環境大臣が定める「鳥獣の保護及び管理を図るための事業を実施するための基本的な指針」に即して、都道府県知事が策定するもので、鳥獣保護区、鳥獣の捕獲等の許可、鳥獣の生息状況等の調査等に関する事項を定めるもの。（根拠：鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成 14 年法律第 88 号）第 4 条）

### 4 第 11 次鳥獣保護管理事業計画からの主な変更点

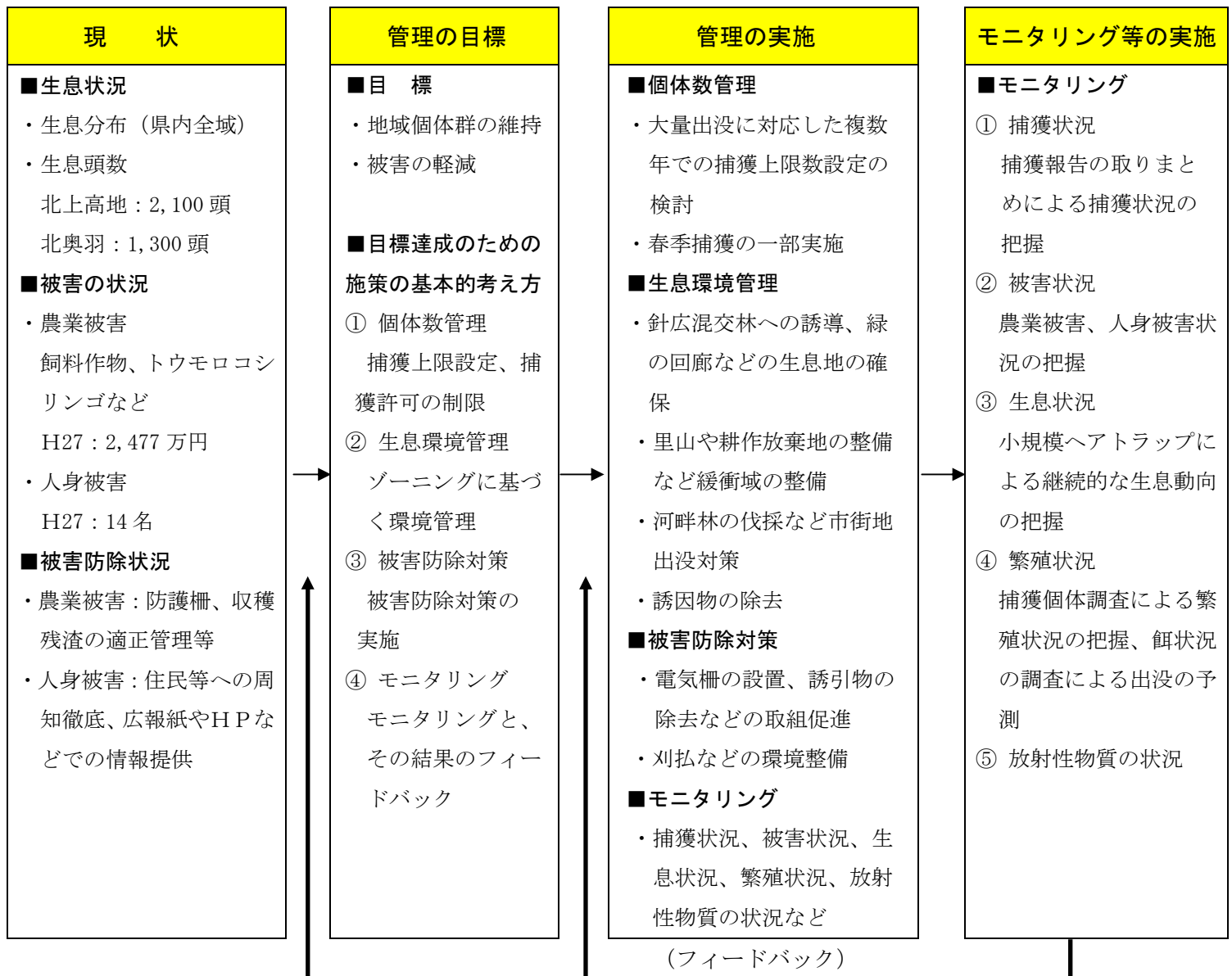
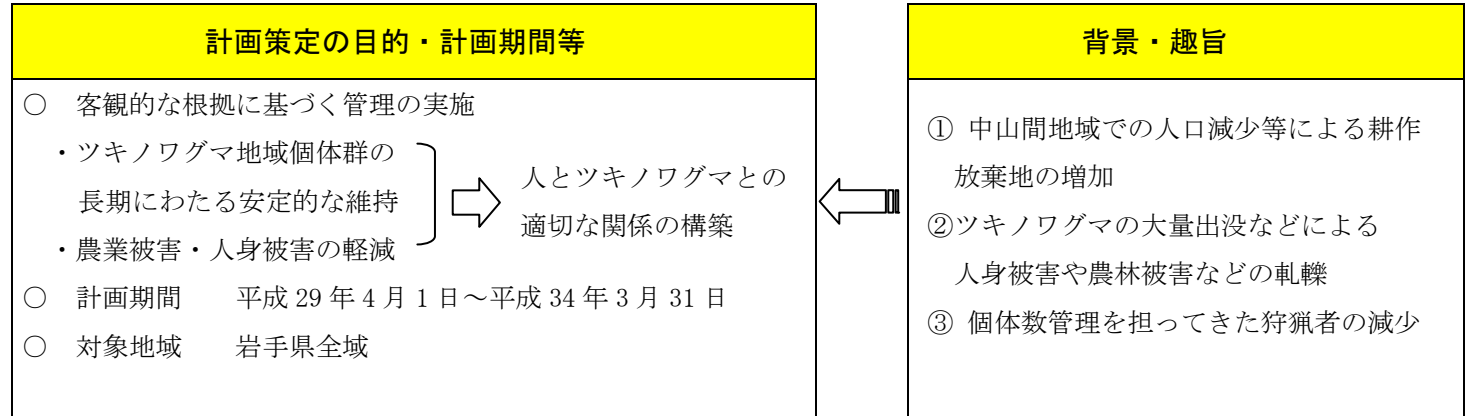
- 捕獲許可におけるわなの許可基準について、「とらばさみ」の使用はやむを得ない場合に限る旨を明記した。
- 銃による捕獲を実施する際に、水鳥又は希少猛禽類の生息地においては、非鉛製弾の使用、又は捕獲個体の搬出を指導する旨を明記した。また、段階的に鉛製弾の使用禁止について検討する旨について言及した。
- 学術研究を目的とした捕獲については、原則捕殺を認めないが、外来鳥獣や有害鳥獣であって、放鳥獣することが適切でないと認められる場合は捕殺を認めることとした。
- 有害鳥獣捕獲について、小型の箱わな等を用いて、アライグマ、ハクビシン等の小型の鳥獣を捕獲する場合、農林業被害の防止の目的で農林業者自らの事業地内であれば、狩猟免許を有しない者であっても許可することができることとした。
- 有害鳥獣捕獲について、被害を防止する目的で、巣の撤去等に伴いカラス、ドバト等の雛を捕獲又は卵を採取する場合は、狩猟免許を有しない者であっても許可することができることとした。
- 傷病鳥獣の救護について、鳥獣の管理が必要な種以外の救護を優先するほか、野生復帰が不可能又は鳥獣の管理を行う必要があり野生復帰させることが適当でない個体については、研究若しくは教育のための活用、終生飼養又はできる限り苦痛を与えない方法での致死等を検討することとした。
- 普及啓発について、生物多様性の保全のためには、適切な鳥獣の保護及び管理が重要であり、捕殺が不可欠な場合があることにも理解を求める旨を言及した。

## 第5次シカ管理計画の概要



(モニタリング結果をフィードバック)

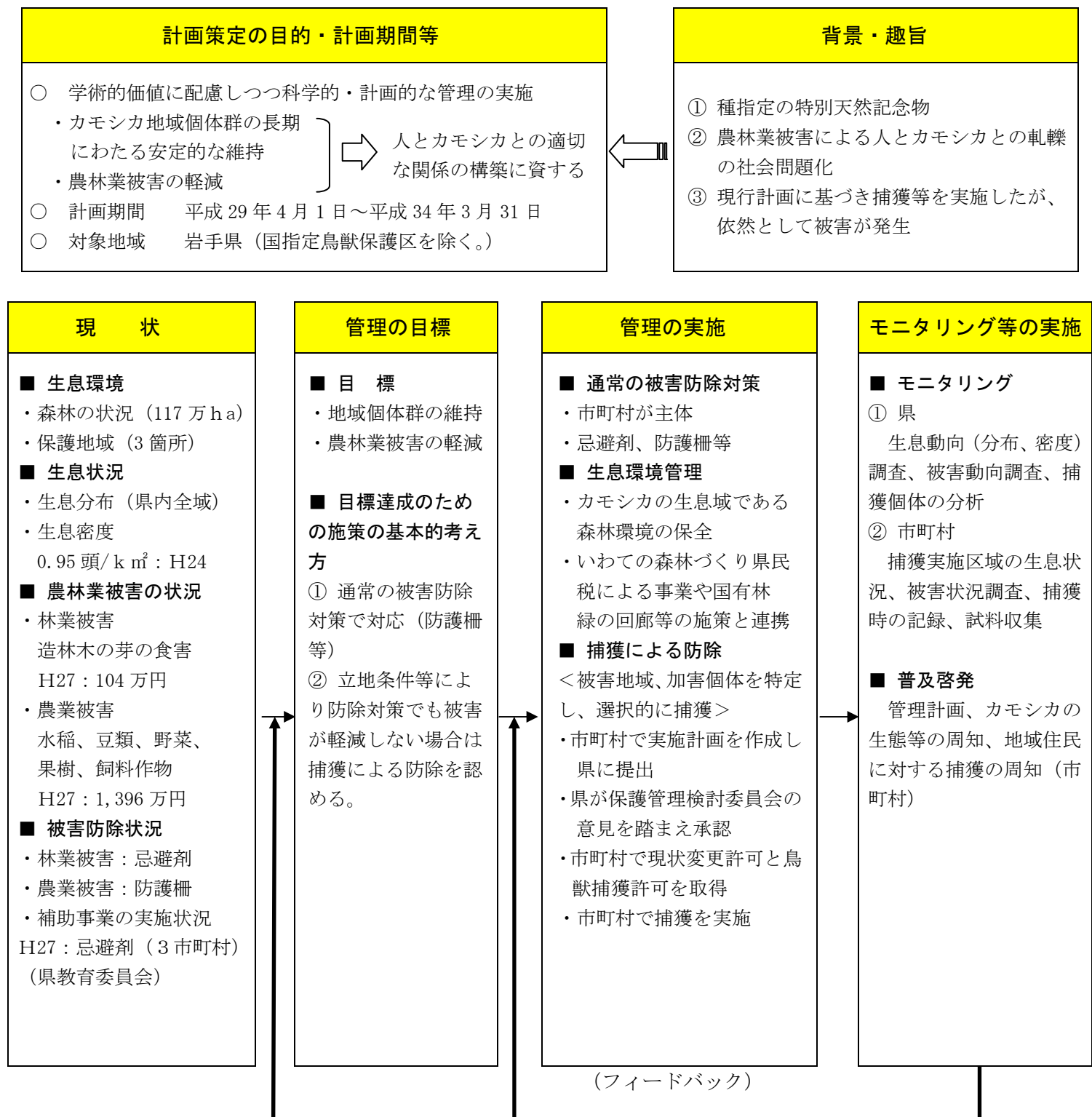
## 第4次ツキノワグマ管理計画の概要



## 【ツキノワグマ捕獲に当たっての基本的考え方】

- ①原則として追払いの方法により対応する。
- ②人への危害が発生もしくはその可能性が高い場合や、農業被害に対して捕獲以外に被害を防ぐ有効な手段がない場合は捕獲を認める。
- ③親子連れの捕獲を行う場合でも原則として幼獣の捕殺は認めない。

## 第4次カモシカ管理計画の概要



## 【市町村実施計画の承認に当たっての基本的考え方】

- ① 捕獲実施区域の設定は適切であること。（設定した区域の被害軽減につながることを。）
- ② 通常の被害防除対策は十分であること。（労力・効果・効率等の観点から十分であること。）
- ③ カモシカによる被害が経年的に発生していること。

## 第2次イノシシ管理計画の概要

